

令和5年度 上尾市図書館更新方針に関する座談会 市民(参加者)意見まとめ

◇事業報告◇

▼座談会であがった市民意見▼

アンケートとワークショップの成果

- ・3つの案のメリットデメリットをもう少し具体的に描いた方が良いのでは？
- ・利用者アンケートや市民ワークショップで最も成果だと思うのは職員が主導的に進めたこと。

設備・サービスの優先度

- ・カウンター業務など貸し出しは一部民間委託だが指定管理に関して危惧している
- ・本館の更新に費やす予算を削って仮設の建築を建てるのであれば、それは休館でやむを得ないと思う。
- ・更新にあたって、分館で資料が受け取り可能ならば、そのように運営してほしい。
- ・本はぎりぎりまで動かしてほしい。

休館期間

- ・休館の場合は他市町村の図書館を利用するという発想もあると思う。
- ・市の財産である蔵書を学校図書館に移転するのは置き場所がないと考える。
- ・本がどこかで一時保管が可能であれば、別の図書館で予約をすれば受け取りができるので問題ではない
- ・本館の更新に力を注がなければいけないのであって、必要であれば休館も構わないと考える。

更新のルール

- ・個人的には箱モノは建ててほしくない。
- ・皆さんと意見を交わしてみてもリノベーションが本命であり、実現性が高いと思った。
- ・本館の更新は早期に実現すべきだと思う。社会情勢もあるが、建物が老朽化しているということが一番の問題であり、早期にリノベーションをしてほしい。
- ・公共施設の容積は守られていかなければならないと思う。

時期とコスト

- ・3案が実現可能性があるわけではないだろうと思う。最大の制約条件がすべてを決める。更新ルールが大前提なので、今より大きな図書館ができることは期待できない。
- ・新しい図書館をどのような案を採択するにしても、単にコストの問題だけでは選ばないでほしい。図書館はこれからの若者・上尾のための施設である。

図書館本館の機能

- ・上尾未来図書館などとして現在実現していないが将来このようなことを目論んでいるということを開示していくとよいと思う。
- ・上尾市の図書館機能と小中学校の図書館機能とを結びつけることはできないか？

その他の意見

- ・新しい図書館に自分の意見が反映されていることが実感できれば参加して良かったと思える。
- ・市議会でもどんな質問を受けても応えられるような計画を立ててほしい。
- ・今後も市民意見を吸い上げていただくよう市民参画の道を継続していただきたい。
- ・上尾市は市民の声を聴こうという動きができない自治体だと思っていたが変わっていかなくてはならないと思ったし、今回の座談会は上尾市のモデルになる。
- ・若い人たちが自分の携帯では知識を学ぶ範囲が限られており、知識の広がりを持たせるために、幅広い知識を繋げていけるようにもっと活用してもらうのが図書館の役割だと思う。
- ・上尾市は4人に1人しか本を借りていないのが現状である。学校に図書が保管され、市内の学校で図書が借りられれば良い機会になるのではないだろうか。
- ・実際に民間施設に移転するとなると、ショーサンプラザや丸広になると思うが、築40年を超えている。これから30年間民間施設にテナントとして入るのは現実問題無理であろう。実現可能性は極めて低いと考える。そのため、政策として考えるのは無理があると思う。
- ・会計年度任用職員は次年度登用されるのかどうか不安な中勤務していると思うので、安心して働けるようにしてほしい。
- ・上平複合施設に図書館と併せて複合するはずだった公共施設の検討も引き続き行ってほしい。